

2023年4月25日
BS サミット事業協同組合
全日本高速道路レッカー事業協同組合 (JHR)
株式会社プライムアシスタンス

日本のEV普及を促進するためのインフラ整備

～ロードサービス関連事業者団体による協業の開始～

自動車整備・ロードサービスをはじめとするモビリティサービス事業者の全国団体である「BS サミット事業協同組合 (理事長 磯部君男)」、ロードサービス事業者の全国団体である「全日本高速道路レッカー事業協同組合 (JHR、理事長 亀山善之)」、そしてSOMPOグループのアシスタンス会社である「株式会社プライムアシスタンス (代表取締役社長執行役員 大倉 岳、以下「プライムアシスタンス」)」の3者は、日本におけるEVの普及を促進するためのインフラ整備で協業することで合意いたしました。

1. 合意に至った背景

カーボンニュートラルの実現、そして日本の基幹産業維持のためにも、日本におけるEVの普及は「国を挙げての最優先課題」であるといえます。また、一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) が実施したアンケート[1]では、回答者の約9割の方が「普段の生活において環境・エコを意識している」と回答、さらに「10年後に主流となっているであろうクルマのタイプ」についても、9割以上の方がガソリン車・ディーゼル車以外を選び、ハイブリッド車 (39.4%) に次いでEV (25.8%) が選ばれるなど、EVに対する自動車ユーザーの期待も極めて高いものとなっています。

しかしながら、クルマの普及に不可欠なロードサービスをはじめとした様々な環境の「EV対応」は、EVの有する以下のような特徴・事情もあり、日本においては現状不十分と言わざるを得ません。

新たな技術

従来のガソリン車等とは全く異なる燃料・仕組みであり、そのロードサービスには新たな知識・技術が必要となります。特にバッテリーに関しては高電圧・危険物等の新たなリスク

もあり、その取扱いを誤ると、ロードサービス隊員の労災事故をも惹起しかねません。また、従来のユーザー・ロードサービス事業者が保有しない「新たな装備」が必要になる場合もあります。

新興メーカー

また、EV の関連技術はまだ黎明期の部分もあり、特に海外等の新興 EV メーカーに関しては、関連技術が特許等の問題もあり公開されていない部分も少なくありません。

電欠への懸念

さらに、現状充電スポットが十分ではないこともあり、依然「電欠（EV 走行中の電気の枯渇）」への懸念が払しょくしきれていないとは言えず、これが普及の障害にもなっています。

3 者は、協業を通してこうした課題に対して共同で対応することにより、今後加速度的な普及が見込まれる EV に関して、その普及にむけて重要なインフラであるロードサービスを整備し、EV の普及に資する環境を全国規模で整えてまいります。

2. 取り組みの概要

プライムアシスタンスが事務局となり、以下のような取り組みを展開してまいります。

現在、最優先で準備を進めているのが、事故・故障といった緊急時に現場に駆け付けるロードサービス事業者に対する「EV 研修の実施」です。

既に普及している HV（ハイブリッド車）で培われたノウハウをベースに、メーカー横断のノウハウならびにメーカー・車種固有のノウハウを集約しマニュアル化します。そして、このマニュアルをベースとした研修を、プライムアシスタンスの全国 3 か所の研修施設（Prime Academy[2]）等を利用して広く全国に展開、第一線のロードサービス事業者に身につけてまいります。

これにより、事故・故障といった非常時に現場にかけつけるロードサービス隊員が、安全・的確、そして迅速に作業ができるようにします。

また、並行して検討を進めているのが、EV 普及を下支えする、「V2V（自動車から自動車への）充電サービス」の提供です。

EV 走行中の「電欠」については、現状、時間と作業負荷をかけて EV を充電スポットまで搬送[3]するか、あるいは、ポータブル充電器を現場まで運び充電する必要があります。

しかしながら、この現場充電用のポータブル充電器は、大型（高重量）でありかつ高額で

もあるため、普及の障害となっています。そこで検討しているのが、SOMPO グループも出資する株式会社オリジン[4]が新たに開発している、V2V の EV 充電ケーブル「POCHA (ポチャ) V2V」[5]を利用して現場で充電する「かけつけ充電サービス」です。

このサービスでは、充電要請があった場合、ロードサービス事業者が EV や PHV で現場に駆け付け、充電要請 EV との間を「POCHA V2V」で接続することにより簡単な現場充電を実現できます。(なお、この「かけつけ充電サービス」では、サービス提供後、要請 EV が最寄りの充電スタンド等まで自走し追加充電することにより、「電欠」を完全に解消します。)

その他、専用サイトで EV 整備・ロードサービス技術やノウハウを共有 (ナレッジマネジメント)したり、実際の EV を利用して事故等を再現して対応スキルを体得する「実車研修」の共同での開催等を、検討してまいります。

さらに、日本最大の自動車ユーザー団体であり、全国規模で会員へのロードサービスを提供している日本自動車連盟 (JAF) 様とも情報共有をしながら、日本の EV ユーザーの方が、安心して EV を利用できるインフラ整備・社会の実現に向けて貢献してまいります。

また 3 者は、日本で初めてとなる「ロードサービスに関わる事業者の横断的な協議の場」となる本枠組みを活用して、「強靱なインフラの整備」や「持続可能なエネルギーへのアクセス確保」といった SDGs の達成、さらには「大規模災害時の道路啓開[6]業務や被災地支援」等、自動車アフターマーケット・ロードサービスに期待されている社会的役割の完遂のための取り組みについても、共同で対応を続けてまいります。

[1] JAF アンケート

2020 年 12 月 28 日～2021 年 1 月 27 日、5,279 件の有効回答数

JAF ウェブサイトで実施

[2] Prime Academy (プライムアカデミー)

プライムアシスタンスが運営するロードサービス事業者向け研修施設

セントラル (プライムアシスタンス本社内: 東京都中野区)・イースト (損保ジャパン守谷総合研修センター内: 茨城県守谷市)・ウエスト (損保ジャパン大阪自動車研究所内: 大阪府大阪市) の 3 か所を設置

[3] 搬送 (はんそう)

レッカー車でけん引する、あるいは積載車に積んで運搬することを指します。

- [4] 株式会社オリジン
代表取締役社長 姉尾一宏
埼玉県さいたま市桜区栄和 3-3-27
TEL:(048)755 - 9011(代表)
URL:<https://www.origin.co.jp/>
* 株式会社オリジンは高い信頼性を求められる通信基地局などの電源装置に強みの
ある企業。(創立 1938 年 東証スタンダード 6513)
- [5] POCHA V2V(ポチャ V2V) (POCHA V2V : POrtable CHArger Vehicle to Vehicle)
* 2023 年秋以降ロードサービス専用タイプを発売予定。
(充電電力)最大 9.5kW(めやす:15 分充電で 15km 走行可能)
(出入力電圧)DC150V~DC450V
(重量)18kg (外寸)500×270×380mm (防水)IP44
- [6] 啓開 (けいかい)
災害時等において、陸路の障害物・危険物などを取り除いて進行を可能にすることを
指します。

<本内容に関するお問い合わせ先>

EV 普及環境インフラ 3 者協業 事務局

(株) プライムアシスタンス

担当者：ネットワーク推進部 田辺 (タナベ)、徳永 (トクナガ)

TEL : 03-5365-1891

MAIL : haruhiko.tanabe@prime-as.co.jp

以上